

# みんなの広場



▲「第28回所沢市民フェスティバル・動物ふれあいランド」では、ポニーの乗馬をしたり、カメやヒツジなどの動物に囲まれたりして楽しみました。10月27日(土)・28日(日)／航空記念公園 (撮影/市民カメラマン・村田ひろこ)



▲“笑門には福来る”優勝賞金を争い、2日間にわたり予選・本選が楽しく繰り広げられた「第28回所沢市民フェスティバル・ミュージックお笑い勝ち抜きバトル」10月27日(土)・28日(日)／ミュージック情報市場野外特設ステージ (撮影/市民カメラマン・谷 亮)



▲多くの市民の皆さんが、所沢市役所へ初登庁する当麻よし子市長を迎えました。10月30日(火)／市役所西口玄関前広場



▲グラウンドゴルフには約400人、ベタンクには20チーム以上が集まり、熱戦が行われた「市民体力づくりグラウンドゴルフ・ベタンク大会」11月3日(祝)／航空記念公園運動場

## みんなのギャラリー

## 試して 楽エコ!!

～クリスマスリースを作ろう!～

街角にジングルベルが聞こえてくる時季になりました。針金ハンガーや古布を使ってクリスマスリースを作ってみませんか。

用意するもの 針金ハンガー1本、古着や古布(適量)、リボン、ボタン、ビーズ

①古着や古布を幅3cm×長さ15～18cmの短いリボン状に切り揃えます。

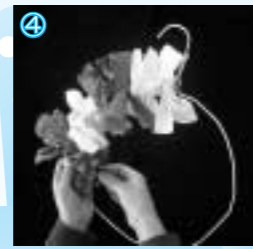
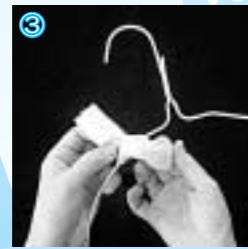
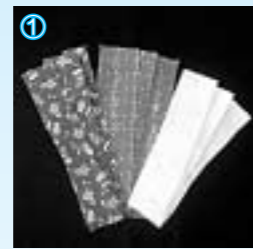
②材料の長さは目安です。ハンガーに結ぶ布は、素材や厚さによってボリュームが違ってきます。幅・長さや結び本数は布地によって調整しましょう。

③針金ハンガーを手で丸く広げます。

④材料の①を針金ハンガーに真結び(かた結び)で結びます。

⑤折し手で寄せながら、すき間無く結んでいきます。

⑥結び終わったら形を整え、木の実やリボン、ビーズなどで飾り付けて出来上がりです。



写真のリースはリボン状の布を80本ほど結び、結んだ布の端を三角に切ってみました。公園で拾った松ぼっくりを針金で留めて、捨てないでおいだ贈答用リボンをからめて仕上げています。仕上げにボタンやビーズを使ってもすてきですね。

今年のクリスマスは、手作りのリースを飾りませんか。お問い合わせ リサイクルふれあい館・エコロ (☎2994-5374・FAX2994-1118)

### 皆さんからの写真や投稿をお待ちしています!

- ▶「みんなの広場」では、エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント(約60字)を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『鍋料理』▶文章は添削あり▶締め切りは12月5日(必着)▶掲載者には記念品を呈呈
- ◎いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501・並木1-1-1 所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係へ郵送またはEメール(アドレスhiroba@city.tokorozawa.saitama.jp)でご応募ください。

## はつらつ 野老っ子



埼玉県から初めて中学横綱が誕生しました。今年8月、両国国技館で開催された全国都道府県中学生相撲選手権大会で、全国各地の強豪を退けて見事優勝に輝いた中村大輝さんは、南陵中学校の3年生。身長183cm、体重140kg、靴のサイズは31cmと恵まれた体格で、風格すら感じさせる中学生です。

小学2年生のときに参加したわんぱく相撲所沢場所でも優勝できず、その悔しさから相撲を始めたことを話してくれました。

そして、小学5年生・6年生の大会では優勝の栄冠を勝ちとるまでになります。初めて参加した全国大会では「土俵に上がると緊張して、気合で緊張を紛らわそうとしたが、体が思うように動かなかった」と精神的な強さも必要なことを学んだそうです。今では、高校や大学の相撲部、相撲部屋へ入籍古に行き「心技体」を鍛えています。「同年代や年下の相手には絶対に負けたくない」と負けず嫌いな性格の反面「梅干やレモンなどすっぱいものが苦手」と恥ずかしそうに話す姿は、やはり中学生なんだと感じさせてくれます。

中村さんのお父さんの話では「気持ちの入っていない稽古は見えず

## 心も体も大きくなった「中学横綱」

中村 大輝さん(久米在住)

ぐ分かる。それでも性格が素直なので成長できた。相撲を通じて親子ともども成長しているんです」と喜びを話してくれました。

中村さんは、全国大会で優勝したとき「苦労も忘れるくらいうれしくて、今まで支えてくれた父親への感謝の気持ちがあふれてきた」とその感動を話してくれました。また、相撲を通じて「礼儀や感謝する気持ちを学び、心も強くなった」と背筋を伸ばして語り、「高校では1年生でレギュラーになり高校横綱、大学では学生横綱を目指して頑張りたい」と今後の目標もしっかり持っています。

中学横綱は、今や地域でも大きな期待を集める存在です。大きな体を見かけると、近所の人も声を掛けてくれるそうです。「地域の方や学校の友人の応援がとても励みになる」と中村さん。

「将来は、尊敬する真乃大親方のもとで精進し、関取になって活躍したい」と大きな夢を話してくれました。国技である相撲で心も体も大きく成長する中村さんの活躍にこれからも目が離せません。



## 歴史再発見 ところざわの文化財



### 埼玉県内最古の五輪塔 ～妙善院五輪塔～

三ヶ島妙善院の墓地の奥まったところに五輪塔が立っています。

五輪塔とは、平安時代の末ごろから用いられた供養塔あるいは墓塔で、鎌倉時代や室町時代に数多く作られました。仏教の五大思想の教えによる宇宙観を表したものといわれ、宇宙を構成する五つの要素、空・風・火・水・地をそれぞれ上から宝珠形(空輪)・半球形(風輪)・三角形(火輪)・球形(水輪)・方形(地輪)で表しています。

妙善院五輪塔は、安山岩製で高さ117cm、各輪の四方には雄渾なタッチの梵字が刻まれています。そして1番下の地輪の1面には梵字の他に「嘉暦四年三月二日」と「了存順叙六十二才」の縦書きの文字が見られます。嘉暦四年は、西暦でいうと1329年。順叙とは僧の死ぬことを意味します。すなわち「嘉暦4年(1329)3月2日に了存という僧侶が62歳で亡くなった」とを示しています。

ちなみにこの4年後の元弘3年(1333)に鎌倉幕府が滅亡しますので、この五輪塔は鎌倉時代の終末期の作品であることがわかります。

また、年号が刻まれている五輪塔としては、これが県内で最も古く、さらに保存状態も良好で、美術工芸の観点からも優れているため、平成11年に埼玉県指定文化財となりました。

各輪のバランスがとれ、どっしりとした重量感と風格が漂うこの五輪塔。「石の上にも、もう678年!」の月日が経とうとしています。

問い合わせ 文化財保護課 (☎2998-9253・FAX2998-9128)



## 誰がエッセイ

和ヶ原・山ノ井 義治

重病の父の晩年は、会話も食事もままならなかった。やむなく、せめて最期のときは家でと、自宅療養となった。

師走に入り、寝たきりの父が心細らぎ癒されるプレゼントをと、家族皆で考え、結局、動物と決めた。大好きな父へミニチュアダックスフンドを買ってあげた。

かわいさあふれる中にも、りりしく気品ある面たちのその犬に、(パロン(男爵))と名付けた。大木父に良くなつき、励ましてくれ、父の顔に久しぶりにほほえみ浮かんだ。

暗闇の中に、一条の希望の光がさし始めたかのように思えた。それは、命の残り火を燃やす父への、何よりのクリスマスプレゼントとなった。

## サンタクロースのプレゼント

南佳吉・宮下 広子

クリスマスが近くなるといつも読み返す小さな本の題名です。今から100年以上も前アメリカのニューヨーク・サン新聞に寄せられた少女の質問に記者が答えたお話です。

お答えは「います、とはいえ、白ひよけのせいではなく、人には『愛』や『思いやり』や『まごころ』があるように、サンタクロースもいるのです。この世界で一番確かなこと、それは子どもにも大人にも見える愛の心です。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、学校の先生、パトロール隊のおじさん、おばさん……

子どもたちの幸せを願うすべての大人たちの思いがサンタクロースなのかもしれません。



## 5歳児のプレゼント

山口・寺林 裕子

「身体に気を付けてね。無理しないでね」と電話の最後に言うのは、決まって母の方。今では孫のいる身なのに、私を気遣ってくれているのだ。本当に有り難い。

年齢を重ね、いつの間にか、プレゼントは子や孫に一方になっているが、私が子どもだったころも、クリスマスは一大イベントだった。仕事帰りに父が買って来たバターのクリームケーキを家族そろって食べた。プレゼントは、実用品だったけれど、もったいなくて、大喜びした。

若かった両親も今ではすっかり老いてしまっ

たけれど、二人そろって今でも元気で私を案じてくれていて、それが、私の最大のクリスマスプレゼントだと最近やっと気がついた。健康に感謝している。

